

## 2015年度 信州大学医学部附属病院リハビリテーション部PT・OT・STの足跡

### I. 原著論文

1. Yamamoto S, Hotta K, Ota E, Mori R, Matsunaga A: Effects of resistance training on muscle strength, exercise capacity, and mobility in middle-aged and elderly patients with coronary artery disease: A meta-analysis. J Cardiol. 2015
2. Yamamoto S, Yamaga T, Sakai Y, Ishida T, Nakasone S, Ohira M, Ota E, Mori R: Association between physical performance and cardiovascular events in patients with coronary artery disease: protocol for a meta-analysis. Syst Rev. 2016
3. Shimizu R, Hotta K, Yamamoto S, Matsumoto T, Kamiya K, Kato M, Hamazaki N, Kamekawa D, Akiyama A, Kamada Y, Tanaka S, Masuda T: Low-intensity resistance training with blood flow restriction improves vascular endothelial function and peripheral blood circulation in healthy elderly people. Eur J Appl Physiol. 2016
4. Abe Y, Matsunaga A, Matsuzawa R, Kutsuna T, Yamamoto S, Yoneki K, Harada M, Ishikawa R, Watanabe T, Yoshida A: Determinants of Slow Walking Speed in Ambulatory Patients Undergoing Maintenance Hemodialysis. PloS one. 2016
5. 川内翔平, 倉島美穂, 山鹿隆義, 市山崇史: 慢性閉塞性肺疾患患者の重症化に伴う日常生活活動の変化. 理学療法研究・長野 44, 52-55, 2015
6. 倉島美穂, 川内翔平, 山鹿隆義, 市山崇史: 当院における慢性閉塞性肺疾患患者の増悪因子の検討—栄養状態に着目して—. 理学療法研究・長野 44, 56-58, 2015

### 【学術奨励賞受賞論文】

7. 大津勇介, 山鹿隆義, 中曽根沙妃, 松森圭司, 上野七穂, 岡本梨江, 市村英美, 吉村康夫: 入院がん患者の基本動作評価は身体活動量を反映するか. 理学療法研究・長野 44, 65-68, 2015
8. 松森圭司, 山鹿隆義, 中曽根沙妃, 大津勇介, 上野七穂, 岡本梨江, 市村英美, 吉村康夫: 低栄養がん患者の栄養指標は身体活動を反映する指標になるか. 理学療法研究・長野 44, 69-71, 2015

9. 中曽根沙妃, 山鹿隆義, 大津勇介, 松森圭司, 上野七穂, 岡本梨江, 市村英美, 吉村康夫: がん患者における健康状態と生活の質の解離について—m-FIM, EORTC, QLQ-C30, ESAS-r-Jによる検討—. 理学療法研究・長野 44, 72-75, 2015
10. 松森圭司, 山鹿隆義, 中曽根沙妃, 岡本梨江, 大津勇介, 上野七穂, 吉村康夫: 入院がん患者における骨格筋量減少群と正常群で身体動作能力に差はあるのか? 国立大学リハビリテーション療法士学会誌 37, 11-14, 2015
11. 川内翔平, 倉島美穂, 山鹿隆義, 市山崇史: 当院における特発性間質性肺炎患者の増悪に対するリハビリテーション効果と増悪予測因子の検討. 国立大学リハビリテーション療法士学会誌 37, 15-18, 2015
12. 堺彩夏, 近藤優樹, 西川良太, 井戸芳和, 吉村康夫: 遊びに着目した作業療法を受けた急性リンパ性白血病患児のQOLの推移. 国立大学リハビリテーション療法士学会誌 37, 19-23, 2015
13. 西村輝, 石原早紀子, 山鹿隆義, 井戸芳和, 吉村康夫: 補助人工心臓装着後に脳梗塞を合併した女兒への作業療法. 国立大学リハビリテーション療法士学会誌 37, 24-28, 2015
14. 佐藤正彬, 山鹿隆義, 小林裕子, 吉村康夫: 信州脳卒中地域連携バス利用した脳卒中患者の歩行獲得における予後予測因子の検討. 国立大学リハビリテーション療法士学会誌 37, 29-33, 2015
15. 石田昂彬, 田中厚誌, 山鹿隆義, 吉村康夫: 大腿軟部肉腫術後の患側筋力と歩行能力について. 国立大学リハビリテーション療法士学会誌 37, 44-46, 2015
16. 山鹿隆義, 佐藤正彬, 小林裕子, 吉村康夫: 脳卒中患者における急性期病院退院時の栄養状態が回復期病院退院時の日常生活活動に及ぼす影響について. 国立大学リハビリテーション療法士学会誌 37, 91-95, 2015

## II. 著書

1. 山本周平, 松永篤彦: 心臓リハビリテーションを運営する, 運動プログラム 高齢者における特性. 心臓リハビリテーション実践マニュアル 評価・処方・患者指導 (循環器臨床サピア4) 第二版. 長山雅俊 (編), 中山書店, 2015, P260-263.

### III. シンポジウム・学会発表

1. 井戸芳和, 内山茂晴, 林正徳, 今枝敏彦, 加藤博之: 肘部管症候群術後における上肢機能評価値の反応性と特徴. 第 58 回日本手外科学会学術集会, 一般演題 (口述), 京王プラザホテル, 2015 年 4 月
2. 井戸芳和, 内山茂晴, 林正徳, 今枝敏彦, 加藤博之: 肘部管症候群患者における術後回復の傾向 線形混合効果モデルを使用して. 第 58 回日本手外科学会学術集会, シンポジウム, 京王プラザホテル, 2015 年 4 月
3. Takata A, Mutai H, Kobayashi M: Associated with Quality of Life and Depression among Patients with Hematopoietic Stem Cell Transplantation. 14th congress of European Association for palliative care, poster, Copenhagen, 2015 May
4. 唐澤達典: 第 50 回日本理学療法学術集会, 審査委員, 東京国際フォーラム, 2015 年 5 月
5. 酒井康成, 大西忠輔, 坂本虎雄, 菊池茉奈, 山田早希, 山口浩史: 肺炎患者の摂食開始時および退院時嚥下筋活動の特徴～表面筋電図による比較～. 第 50 回日本理学療法学術集会, 一般演題 (セレクション口述), 東京国際フォーラム, 2015 年 5 月
6. 中曽根沙妃, 山鹿隆義, 大津勇介, 松森圭司, 上野七穂, 岡本梨江, 吉村康夫: がん患者の日常生活活動と QOL の関連性の検討ー健康状態と生活の質に着目してー. 第 50 回日本理学療法学術集会, 一般演題 (ポスター), 東京国際フォーラム, 2015 年 5 月
7. 石田昂彬, 田中厚誌, 吉村康夫, 山鹿隆義: 大腿軟部肉腫切除術後の膝関節伸展筋力と股関節機能及び歩行との関連性. 第 50 回日本理学療法学術集会, 一般演題 (ポスター), 東京国際フォーラム, 2015 年 5 月
8. 保科渡, 山室慎太郎, 青木幹昌, 天正恵治: ハムストリング腱を用いた膝前十字靭帯再建術症例における膝関節周囲筋の筋活動量. 第 50 回日本理学療法学術集会, 一般演題 (ポスター), 東京国際フォーラム, 2015 年 5 月
9. 松森圭司, 山鹿隆義, 中曽根沙妃, 大津勇介, 上野七穂, 岡本梨江, 吉村康夫: がん患者に対するリハビリ初回時の栄養状態が身体活動・QOL に与える影響について. 第 50 回日本理学療法学術集会, 一般演題 (ポスター), 東京国際フォーラム, 2015 年 5 月

10. 大津勇介, 山鹿隆義, 中曾根沙妃, 松森圭司, 上野七穂, 岡本梨江, 吉村康夫: がん患者における基本動作評価法についての検討. 第 50 回日本理学療法学会, 一般演題 (ポスター), 東京国際フォーラム, 2015 年 5 月
11. 井戸芳和: 第 65 回日本病院学会, 座長, 軽井沢プリンスホテルウエスト, 2015 年 6 月
12. 井戸芳和, 内山茂晴, 小松雅俊, 林正典, 加藤博之: 肘部管症候群患者における巧緻運動評価の妥当性~STEF と Sollermant test (Rosen score) との比較~. 第 49 回日本作業療法学会, 一般演題 (口述), 神戸ポートピアホテル, 2015 年 6 月
13. 山鹿隆義, 坂本明之, 中曾根沙妃, 上野七穂, 吉村康夫: がん患者の特性的自己効力感と 日常生活活動・生活の質の関連性について. 第 49 回日本作業療法学会, 一般演題 (口述), 神戸ポートピアホテル, 2015 年 6 月
14. 石原早紀子, 吉原理美, 齋藤明子, 黒岩直美, 畑幸彦: 歌を口ずさみながらの歩行プログラムが 健常高齢者の前頭前野に与える影響—機能的近赤外線分光装置 (fNIRS) を用いて—. 第 49 回日本作業療法学会, 一般演題 (口述), 神戸ポートピアホテル, 2015 年 6 月
15. 吉原理美, 石原早紀子, 齋藤明子, 黒岩直美, 畑幸彦: 携帯電話の操作プログラムが 健常高齢者の認知機能と前頭前野へ及ぼす影響—機能的近赤外線分光装置 (fNIRS) を用いて—. 一般演題 (口述), 神戸ポートピアホテル, 2015 年 6 月
16. 佐藤正彬, 上村智子: 認知障害のある高齢者の人工股関節置換術後の独居生活復帰へ向けた支援. 第 49 回日本作業療法学会, 一般演題 (口述), 神戸ポートピアホテル, 2015 年 6 月
17. 高田明子, 務台均, 小林正義: 造血幹細胞移植患者の QOL と抑うつ状態の関連. 第 49 回日本作業療法学会, 一般演題 (ポスター), 神戸ポートピアホテル, 2015 年 6 月
18. 上野七穂, 木下朋実, 石原早紀子, 山鹿隆義, 池田修一: 子宮頸がんワクチン接種後 女兒の認知機能の傾向. 第 49 回日本作業療法学会, 一般演題 (ポスター), 神戸ポートピアホテル, 2015 年 6 月

19. 西村輝, 石原早紀子, 山鹿隆義, 井戸芳和, 吉村康夫: 小児劇症型心筋炎に対する補助人工心臓装着後に脳梗塞を発症した1症例. 第49回日本作業療法学会, 一般演題(ポスター), 神戸ポートピアホテル, 2015年6月
20. 石川絵理, 金丸和代, 田中佐千恵, 小林正義. 鷲塚伸介: 気分障害・ストレス関連障害の休職者に対するリワークプログラムの試み. 第49回日本作業療法学会, 一般演題(ポスター), 神戸ポートピアホテル, 2015年6月
21. 金丸和代, 石川絵理, 河埜康二郎, 田中佐千恵, 小林正義: うつ病の再発予防に貢献する作業療法プログラムの検討. 第49回日本作業療法学会, 一般演題(ポスター), 神戸ポートピアホテル, 2015年6月
22. 三澤加代子: 第6回信州の心臓リハビリテーションを考える会, 座長, 信州大学旭総合研究棟, 2015年6月
23. 中曽根沙妃, 山鹿隆義, 大津勇介, 松森圭司, 上野七穂, 岡本梨江, 市村芙美, 吉村康夫: がん患者の日常生活活動とQOLの関連性の検討ー健康状態と生活の質に着目してー. 第44回長野県理学療法学会, 一般演題(口述), 佐久大学, 2015年6月
24. 松森圭司, 山鹿隆義, 中曽根沙妃, 大津勇介, 上野七穂, 岡本梨江, 市村芙美, 吉村康夫: がん患者に対するリハビリ初回時の栄養状態が活動量・QOLに与える影響について. 第44回長野県理学療法学会, 一般演題(口述), 佐久大学, 2015年6月
25. 大津勇介, 山鹿隆義, 中曽根沙妃, 松森圭司, 市村芙美, 上野七穂, 岡本梨江, 吉村康夫: 入院がん患者の基本動作評価は身体活動量を反映するか. 第44回長野県理学療法学会, 一般演題(口述), 佐久大学, 2015年6月
26. 川内翔平, 倉島美穂, 山鹿隆義, 市山崇史: 慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者における重症度と日常生活動作(ADL)の改善についての検討. 第44回長野県理学療法学会, 一般演題(口述), 佐久大学, 2015年6月
27. 倉島美穂, 川内翔平, 山鹿隆義, 市山崇史: 当院における慢性閉塞性肺疾患の増悪因子の後方視的検討. 第44回長野県理学療法学会, 一般演題(口述), 佐久大学, 2015年6月

28. Yamamoto S, Hotta K, Ota E, Mori R, Matsunaga A: Effects of resistance training in patients with coronary artery disease: a meta-analysis. 第 21 回心臓リハビリテーション学会学術集会, 一般演題 (口述), 福岡国際会議場, 2015 年 7 月
29. 山崎佐枝子, 矢嶋史恵, 吉沢恵, 三澤加代子, 井戸芳和, 竹内崇博, 元木博彦, 岡田綾子, 柴祐司, 伊澤淳, 宮下裕介, 小山潤, 池田宇一: 当院の外来心リハ件数が少ない理由を検討する. 第 21 回心臓リハビリテーション学会学術集会, 一般演題 (口述), 福岡国際会議場, 2015 年 7 月
30. 山崎佐枝子, 竹内崇博, 元木博彦, 岡田綾子, 柴祐司, 伊澤淳, 宮下裕介, 小山潤, 池田宇一, 矢嶋史恵, 吉沢恵, 三澤加代子, 井戸芳和: 心臓リハビリテーションは儲かるのか 当院の収支報告書. 第 21 回心臓リハビリテーション学会学術集会, 一般演題 (口述), 福岡国際会議場, 2015 年 7 月
31. 中曽根沙妃, 山崎佐枝子, 矢嶋史恵, 吉沢恵, 元木博彦, 池田宇一: ファロー四徴症, Rastelli 術後の成人先天性心疾患患者に対する外来心臓リハビリテーションの導入. 第 21 回心臓リハビリテーション学会学術集会, 一般演題 (ポスター), 福岡国際会議場, 2015 年 7 月
32. 石川絵理: 地方都市で行うリワークプログラム～大学病院での実践～. 第 3 回信州リワーク研究会, 一般演題 (口述), 信州大学病院東 9 階会議室, 2015 年 7 月
33. 岡本梨江, 池田裕子, 寺島さつき, 水谷瞳, 鈴木滋, 鎌田孝広, 栗田浩: 生後 3 ヶ月時に右下顎未分化肉腫を発症し, 離乳食初期獲得まで至った 1 例. 第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 一般演題 (ポスター), 国立京都国際会館, 2015 年 9 月
34. 唐澤達典: 第 12 回肩の運動機能研究会, 座長, 仙台国際センター, 2015 年 10 月
35. 青木幹昌, 吉村康夫, Goh Ah Cheng: 膝手術後の疼痛に対する鍼様 TENS の効果. 第 23 回日本物理療法学会, 一般演題 (口述), 神戸学院大学, 2015 年 10 月
36. 高田明子, 吉村康夫, 小泉知展: 当院の骨転移患者に対するリハビリテーションの現状と介入の ADL の変化. 第 53 回日本癌治療学会, 一般演題 (ポスター), 国立京都国際会館, 2015 年 10 月

37. 井戸芳和：第 37 回国立大学リハビリテーション療法士学会大会，座長，東京大学山上会館，2015 年 10 月
38. 松森圭司，山鹿隆義，中曾根沙妃，大津勇介，岡本梨江，上野七穂，市村美美，吉村康夫：がん患者における筋肉量減少群と筋肉量正常群の ADL・活動量の検討．第 37 回国立大学リハビリテーション療法士学会大会，一般演題（口述），東京大学山上会館，2015 年 10 月
39. 川内翔平，倉島美穂，山鹿隆義，市山崇史：当院における特発性間質性肺炎患者の増悪と ADL の検討．第 37 回国立大学リハビリテーション療法士学会大会，一般演題（口述），東京大学山上会館，2015 年 10 月
40. 堺彩夏，近藤優樹，井戸芳和，西川良太，吉村康夫：遊びに着目した作業療法を受けた急性リンパ性白血病患者の QOL の推移．第 37 回国立大学リハビリテーション療法士学会大会，一般演題（口述），東京大学山上会館，2015 年 10 月
41. 西村輝，石原早紀子，山鹿隆義，井戸芳和，吉村康夫：補助人工心臓装着後で脳梗塞を合併した女児への作業療法．第 37 回国立大学リハビリテーション療法士学会大会，一般演題（口述），東京大学山上会館，2015 年 10 月
42. 佐藤正彬，山鹿隆義，小林裕子，吉村康夫：脳卒中患者の歩行獲得における予後予測因子の検討．第 37 回国立大学リハビリテーション療法士学会大会，一般演題（口述），東京大学山上会館，2015 年 10 月
43. 石田昂彬，田中厚誌，吉村康夫，山鹿隆義：大腿軟部肉腫切除術後の患側筋力と歩行能力について．第 37 回国立大学リハビリテーション療法士学会大会，一般演題（ポスター），東京大学山上会館，2015 年 10 月
44. 山鹿隆義，佐藤正彬，小林裕子，吉村康夫：脳卒中患者における急性期病院の栄養状態と回復期病院の ADL についての検討．第 37 回国立大学リハビリテーション療法士学会大会，一般演題（ポスター），東京大学山上会館，2015 年 10 月
45. 山本周平，堀田一樹，大田えりか，松永篤彦，森臨太郎：冠動脈疾患患者に対するレジスタンストレーニングの効果：メタアナリシスによる検討．第 239 回日本循環器学会関東甲信越地方会，一般演題（口述），ステーションコンファレンス東京，2016 年 2 月

46. 寺島さつき：がん患者さんの”口からたべる”を考える～摂食嚥下リハビリテーションの流れと事例検討～. がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン主催 がん治療を支える栄養, シンポジウム, 信州大学病院外来棟, 2016年2月
47. 寺島さつき：口腔疾患（口唇口蓋裂）のケア. 第18回新生児呼吸療法モニタリングフォーラム 新生児から始める口腔ケア, 講演, 大町市文化会館, 2016年2月
48. 石川絵理, 田中佐千恵, 小林正義, 鷲塚伸介：リワークプログラム参加者の認知機能と社会適応度の検討. 第2回CEPD研究会, 一般演題（ポスター）, 国立精神・神経医療研究センター, 2016年3月
49. 井戸芳和：第32回長野県作業療法学会大会, 座長, 駒ヶ根総合文化センター, 2016年3月
50. 上野七穂, 井戸芳和, 堺彩夏, 西村輝, 常田亮介, 三澤加代子, 椎大亮, 酒井典子, 山崎宏, 内山茂晴, 宮尾陽一, 加藤博之：農村部在住の50歳代住民に対する認知機能評価～MoCA-Jを使用して～. 第32回長野県作業療法学会大会, 一般演題（口述）, 駒ヶ根総合文化センター, 2016年3月
51. 堺彩夏, 近藤優樹, 井戸芳和, 川崎桂子, 水谷瞳, 吉村康夫：長期間のNICU管理にて発達の遅れを呈した児への作業療法経験. 日本発達系作業療法学会第4回学会大会, 一般演題（口述）, 広島大学広仁会館, 2016年3月

#### IV. 研修会講師

1. 唐澤達典：ストレッチングについて. 信州大学医学部内科学第一教室主催 HOT（在宅酸素療法）の会, 講師, 信州大学病院外来棟, 2015年6月
2. 山鹿隆義, 西村輝, 佐藤正彬：移乗について. 信州大学病院東5階病棟勉強会, 講師, 東5階病棟, 2015年7月
3. 山本周平：6分間歩行距離について. 信州大学病院西8階病棟勉強会, 講師, 西8階病棟, 2015年8月
4. 常田亮介, 保科渡, 松森圭司：歩行介助について. 信州大学病院東3階病棟勉強会, 講師, 東3階病棟, 2015年9月

5. 唐澤達典：障害の理解（リハビリテーションの視点から考える），介護に関する体の仕組みの基本的理解について．平成 27 年度介護職員初任者研修，講師，上伊那郡中川村社会福祉法人麦の家，2015 年 9 月
6. 唐澤達典，川内翔平，倉島美穂：排痰について．信州大学病院東 6 階病棟勉強会，講師，東 6 階病棟，2015 年 9 月
7. 唐澤達典，川内翔平，倉島美穂：呼吸理学療法について．信州大学病院看護師研修 呼吸ケアコース，講師，信州大学病院旭町庁舎，2015 年 9 月
8. 川崎桂子：転倒・転落の傾向と対策．信州大学病院医療安全職員研修，講師，信州大学病院外来棟，2015 年 10 月
9. 寺島さつき，小口和津子，岡本梨江：口腔ケア．信州大学医学部内科学第一教室主催 H O T（在宅酸素療法）の会，講師，信州大学病院外来棟，2015 年 10 月
10. 吉村康夫，井戸芳和，高田明子，川崎桂子，三澤加代子，寺島さつき，山鹿隆義：平成 27 年度 第 1 回 信州がんのリハビリテーション研修会，講師，信州大学旭総合研究棟，2015 年 11 月
11. 寺島さつき：摂食・嚥下について．信州大学病院高度救命救急センター勉強会，講師，高度救命救急センター，2015 年 11 月
12. 寺島さつき：口蓋裂児の構音指導，口蓋裂児の事例検討．ことばの教室在籍児童の支援および今後の指導，講師，長野県総合教育センター，2015 年 11 月
13. 唐澤達典：第 11 回長野県呼吸ケアセミナー，講師，伊那中央病院，2015 年 11 月
14. 山本周平：6 分間歩行距離について．信州大学病院西 8 階病棟勉強会，講師，西 8 階病棟，2015 年 12 月
15. 唐澤達典：信州大学病院看護部主催 呼吸ケア専門コース，講師，信州大学病院旭町庁舎，2015 年 12 月
16. 山本周平：心不全のリハビリテーション．第 10 回リハビリストイック勉強会，講師，ポーノ相模大野，2015 年 12 月

17. 唐澤達典：術後肺合併症予防法について．信州大学病院東4階病棟勉強会，講師，東4階病棟，2015年12月
18. 山本周平：第4回コクランフルレビューワークショップ，講師，国立成育医療研究センター，2016年2月
19. 中曽根沙妃：補助人工心臓について．信州大学病院ICU勉強会，講師，ICU，2016年2月
20. 岡本梨江：食形態調整について．信州大学病院西7階病棟勉強会，講師，西7階病棟，2016年2月
21. 井戸芳和：肘部管症候群患者における巧緻運動障害の特徴．第24回信州臨床作業療法研究会，講師，信州大学保健学科，2016年3月

#### V. 資格取得

1. 石田昂彬：心臓リハビリテーション指導士取得，がんのリハビリテーション研修修了，2015年
2. 中曽根沙妃：3学会合同呼吸療法認定士取得，がんのリハビリテーション研修修了，2015年
3. 山鹿隆義：3学会合同呼吸療法認定士取得，2015年
4. 唐澤達典：がんのリハビリテーション研修修了，2015年
5. 萩無里亜希：がんのリハビリテーション研修修了，2015年
6. 山本周平：がんのリハビリテーション研修修了，2015年
7. 松森圭司：がんのリハビリテーション研修修了，2015年
8. 大津勇介：がんのリハビリテーション研修修了，2015年
9. 小口和津子：がんのリハビリテーション研修修了，2015年

以上